

平成23年度第9回医学部看護研究倫理委員会議事要旨

日 時 平成24年2月13日（月） 16時15分～17時13分
場 所 看護学科棟1階 学科長室
出席者 内田 宏美 委員長、足立 経一 委員、三瓶 まり 委員、
秦 美恵子 委員、八塔 累子 委員、藤田 委由 委員、
飯塚 雄一 委員

（7名出席）

欠席者 加藤 博康 委員

委員以外の出席者 研究申請者（大学院医学系研究科看護学専攻 学生
内部 孝子）

本委員会は、本学医学部看護研究倫理委員会規則第5条第1項の定めるところにより成立したものである。（定足数6名以上の委員の出席 かつ 5号委員又は6号委員の出席 の要件具備。）

議 事

1. 看護研究申請書の審査について

課題名：急性疾患治療後の高齢者の生活リズムが栄養状態に及ぼす影響

・・・・・・・・・・資料1

内田 宏美 委員長から、資料1のとおり大学院医学系研究科看護学専攻 学生 内部 孝子 より申請があったので、審議願いたい旨の説明があった。

続いて、当該申請者から研究の概要等についての説明がなされて、各委員から同人に対して質疑等が行われた。

審議の結果、本件申請については、誤字脱字等「委員会が指摘した事項について、委員長が訂正等を確認後、承認する。」とされた。

2. 報告事項

内田 宏美 委員長より、前回の委員会で審議した案件について、「平成24年1月16日付け承認」の通知書の発行及び同人宛てに交付された旨の報告が行われた。

申請者：看護学科地域看護学講座 教授 原 祥子（はら さちこ）

課題名：認知症高齢者の入浴ケアにおける「さ姫」ローズ水を用いた芳香療法の有用性

併せて、前回の議事要旨を了承した。

3. その他

- (1) 医学部附属病院看護部 看護師のチームから、医学部 医の倫理委員会で承認済みの研究課題に看護の視点からの研究を追加するので、来月の本委員会で別途に審査を受けたいということで、『看護研究申請書』が既に提出されている案件への対応について。

申請に至った経緯が不明瞭である。医の倫理委員会で承認された当該研究課題の倫理審査申請書一式等のコピーを、追加添付書類として提出してもらい、平成24年2月27日開催予定の『予備審査』の場でヒアリングして、取扱いを決定したい。

- (2) 次回の当委員会の開催日時については、当委員会・年間予定表のとおり第2火曜日の、平成24年3月13日（火）16時15分からとした。

以上